

第1章 はじめに

- ◆ 計画改定の趣旨
国が改正した基本指針に則り、県の総合的な肝炎対策の推進を図るため改定
- ◆ 計画の性格
肝炎対策基本法に基づく県の肝炎対策について、国の「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」を基本として策定
- ◆ 計画の期間
令和5年度から令和9年度までの5年間
- ◆ 計画の対象区域
県内全市町村

第2章 計画改定の背景

◆ 県内の肝炎ウイルス感染者数等の現状

項目	神奈川県	全国
肝炎ウイルス 持続感染者数 ※1	B型肝炎ウイルス	7万人～8万人
	C型肝炎ウイルス	6万人～9万人
肝疾患患者数 ①合計 ②慢性肝炎 ③肝硬変・肝がん ※2	B型肝炎ウイルス	①1万3千人②1万人③3,000人
	C型肝炎ウイルス	①2万1千人②1万5千人③6,000人
		①19万人②15万人③4万人
		①30万人②21万人③9万人

※1 2015年推計。「令和元年度厚生労働省科学研究費補助金 肝炎等克服政策研究事業報告書（田中班）」
 神奈川県感染者数は全国推計値に神奈川県人口比率7%を乗じて算出

※2 2018年推計。「令和2年度厚生労働省科学研究費補助金 肝炎等克服政策研究事業報告書（田中班）」
 神奈川県患者数は全国推計値に神奈川県人口比率7%を乗じて算出

◆ 県内の肝がん罹患数と死亡率の現状

項目	神奈川県	参考
肝がんの罹患数 ※1	2,426人(H28)⇒2,132人(R1)	全国：42,762人(H28) ⇒37,296人(R1)
年齢調整死亡率の推移 ※2	5.6(H24)⇒3.7(R2) (10万人対)	全国：6.4(H24)⇒3.9(R2) (10万人対)
肝がんの死亡者数の推移 ※2	1,739人(H24)⇒1,476人(R2)	R2順位(ワースト) ①東京2,035 ②大阪1,982 ③神奈川

※1 「全国がん登録」（国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」） ※2 「人口動態統計調査」（厚生労働省）

◆ 肝炎対策推進計画（平成30年度～平成34年度）の分析・評価

施策の柱	目標	目標値	達成状況	評価
肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発	肝炎に対する認知度（どのような病気が知っている割合）の向上<県民ニーズ調査>	57.4%	50.9% (R4年度)	×
肝炎ウイルス検査の受検の促進	肝炎ウイルス検査受検率の向上<県民ニーズ調査>	33.2%	25.5% (R4年度)	×
肝炎医療を提供する体制の確保	全市町村で陽性者フォローアップを実施	33自治体	28自治体 (R4年度)	×
肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成	肝疾患コーディネーターの養成	500人	578人 (R3年度)	○
肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実	相談したいが相談できない患者（「相談先がわからない」も含む）の割合の減少<肝炎患者に対する意識調査>	0%	10% (R2年度)	×

肝炎対策に関する主な課題

- 肝炎に対する認知度は依然として高いとはいえず、メディアの活用や職場での普及啓発等が必要
- 肝炎ウイルス検査受検率は依然として高いとはいえず、市町村との連携や職場での受検勧奨等が必要
- 陽性者フォローアップを行う市町村の支援や、フォローアップが受診につながっているかの検証が必要
- 肝疾患コーディネーターの活動支援や、配置の均てん化の取組が必要
- 患者の相談先となる肝疾患相談センターや肝疾患コーディネーターの認知度向上の取組が必要



第3章 取組みの方向性

【計画の基本理念】

正しい知識で肝臓を守り、いのちをつなぐ・ささえる神奈川づくり

【計画の基本方針】

- 知る…まず知ることから
ウイルス性肝炎に関する正しい知識をすべての県民が持つことができるよう、普及啓発に取り組みます。
- 動く…自ら行動する
すべての県民が少なくとも1回は肝炎ウイルス検査を受けるよう体制整備や受検勧奨を強化するとともに、陽性と分かった方が自ら行動することができるよう促すしくみづくりを進めます。
- 支える…県民総ぐるみで支える
肝炎医療の水準を高めるための取組を行うとともに、県民一人ひとりが肝炎患者等の人権を尊重し、肝炎患者等が安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。

【全体目標】

ウイルス性による肝炎から肝硬変または肝がんへの移行者を減らす。

第4章 施策展開

1 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

- 肝炎を予防するための普及啓発
- B型肝炎ワクチンの定期接種及びインターフェロンフリー治療の推進
- 肝炎患者等に対する偏見や差別の防止

2 肝炎ウイルス検査の受検の促進

- 肝炎ウイルス検査に関する普及啓発 ○肝炎ウイルス検査の実施 ○職場における受検勧奨

3 肝炎医療を提供する体制の確保

- 肝疾患診療ネットワークの充実・強化 ○検査陽性者のフォローアップ

4 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成

- 医療従事者のスキルアップ ○肝炎対策に携わる人材の育成

5 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

- 相談支援 ○肝炎患者等に対する情報提供等 ○肝炎治療医療費助成制度等の実施

◆ 個別目標

施策の柱	目標	基準値 (年度)	目標値 (年度)
肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発	肝炎に対する認知度（どのような病気が知っている割合）の向上<県民ニーズ調査>	50.9% (R4年度)	60.0% (R9年度)
肝炎ウイルス検査の受検の促進	肝炎ウイルス検査受検率の向上<県民ニーズ調査>	(継続目標)	33.2% (R9年度)
肝炎医療を提供する体制の確保	全市町村で陽性者フォローアップを実施	(継続目標)	33自治体 (R9年度)
肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成	肝疾患コーディネーターの配置自治体	-	33自治体 (R9年度)
肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実	相談したいが相談できない患者（「相談先がわからない」も含む）の割合の減少<肝炎患者に対する意識調査>	(継続目標)	0% (R9年度)

第5章 推進体制及び進行管理

- 県民、医療機関、事業者等の関係者と連携、協力して取組を進めます。
- 「神奈川県肝炎対策推進協議会」において、計画の進行状況や、目標の達成状況について協議を行い、必要に応じて、施策の見直しを行います。